松本市防災重点ため池　ハザードマップ

□大規模地震が発生したり、台風などの大雨が降り続くと、ため池が決壊する恐れがあります。
このハザードマップは、万が一ため池が決壊した際に備えて、ため池近くにお住いの皆様に役立つ情報 を示しています。
ハザードマップの内容をよく読み、いち早く避難出来るように普段からご家族や地域の皆様と避難につい て話し合いをして、いざという時に備えましょう。

自分たちのマップをつくろう！

このハザードマップには、氾濫範囲の想定の一例や指定避難場所が記載されています。マップを完成させるには、ご家族や地域の皆さんで普段いる場所（自宅など）からの避難先や避難経路について話し合いを行って、裏面のマップに避難経路などを記入して、**各家庭のマイマップの作成をしましょう！**

ふだんから備えましょう！

持ち出し袋に用意するものチェックリスト

□携帯用飲料水
□食品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
□貴重品（預金通帳、印鑑、現金など）
□救急用品（常備薬・お薬手帳など）
□ヘルメット、防災ずきん
□軍手（厚手の軍手）
□懐中電灯・笛
□衣類（セーター、ジャンパー類）
□歯ブラシ・ウェットティッシュ
□下着
□毛布
□上履き・スリッパ
□携帯ラジオ・予備電池
□マッチ、ろうそく（水にぬれないようにビニールでくるむ）
□使い捨てカイロ
□筆記用具（ノート、えんぴつなど）

※この他にも家族で必要なものを話し合い、準備しましょう。

出展：「わたしの防災サバイバル手帳（消防庁）」を参照

家族・知人の安否確認方法

災害時には、家族間での連絡がとれないなどの事態が起こりがちです、さらに固定電話や携帯電話がつながりにくい状態が、長く続く恐れがあります。日頃から家族同士の連絡方法を確認しておきましょう。
また、自分の安否を家族・親戚・知人に知らせるため、災害時には「災害用伝言ダイヤル」が開設されますので、このサービスを連絡・安否確認として活用しましょう。
この災害用伝言ダイヤルは、公衆電話はもちろん、携帯電話やPHSからも利用可能ですが、携帯電話でも災害用伝言板が開設されますので、事前に利用方法などを確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル 171

家族間や知人間などの、安否の確認や連絡に活用できます。

録音方法　171 ➡ 1 ➡ （XXXX）XX－XXXX ➡ 伝言を入れる（1メッセージあたり30秒以内）

音声による案内が流れます

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルしてください。

再生方法　171 ➡ 2 ➡ （XXXX）XX－XXXX ➡ 伝言を聞く

音声による案内が流れます

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルしてください。

緊急時の連絡先一覧

松本市役所	0263-34-3000
松本警察署	0263-25-0110
松本広域消防局	0263-25-0119

家族の連絡先

氏　名	連絡先（勤務先・学校）	電話番号	携帯電話